

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 年 月 日

事業所名 みずいろの木

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		広いプレイルームと学習室があり、個々の療育に合わせて部屋を分けています。	
	2 職員の配置数は適切である	2	2	有資格者の職員が最低人員数以上常時勤務しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	2	今日の利用のお友だちや職員が明確に分かるように写真付きの札を貼ったり、タイムスケジュールを貼りだしています。	建築上すべてをバリアフリーにすることは難しいですが、できる限り検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		毎日の掃除はもちろん、定期的に次亜塩素酸等を使って消毒を行っています。しっかりと身体を動かして遊べる庭もあります。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	1	定期的な会議と、朝・夕のミーティングで振り返りを行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		事業所評価を行い、職員間での情報共有を行っております。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		ホームページにて公表させていただいています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	第三者による外部評価を行っています。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		月に1回事業所内研修を行っています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		個人の発達にあった支援を行うために、保護者面談や関係機関との連携を行っています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		個人の発達にあった支援を行うために、保護者面談や関係機関との連携を行っています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		本人の発達はもちろん、地域に根差した支援が行えるよう、また、ご家族の悩みや困りに寄り添った支援ができるようにしっかり支援計画の中に盛り込んだ計画をたてさせていただいています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	1	全職員が支援計画書をいつでも確認取れるようにしています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1	職員会議で話し合い、計画を立てています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		様々な取り組みの案を出し合い、季節や年齢などに合わせた活動プログラムを用意しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4		個別療育では個々に合わせた療育支援を行い、集団活動では参加しているお子様が人との関わりを楽しみ感じられるよう意識した支援計画を作成しています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1	朝のミーティングの際その日の活動内容や個別の支援の内容はもちろん、最近のお子様の様子なども確認しています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	支援終了後は職員間でその日の振り返りを行い、全職員で情報共有し次回の支援につなげていくようにしています。	
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1	日々の業務日誌と、お子様がご利用された際には個別の記録をつけています。1か月に1回記録の振り返りを行い支援の方向性、改善を行っています。		

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		慣れるまでは3か月に1回モニタリングを行っています。その際保護者様に来ていただき計画の見直しが必要か一緒に確認させていただきます。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		児発管が主に対応させていただいていますが時には指導員も一緒に同行させていただいています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4		児発管が主に対応させていただいていますが時には指導員も一緒に同行させていただいています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		情報共有を行わせていただいております。園の方にご訪問させていただいたり、園の先生方に来ていただき支援している様子を見ていただいています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		小学校入学前のお子様が進学できるようにご連絡させていただき情報交換させていただいています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	研修のご案内を頂いたときには時間を作りできるだけ研修に参加させていただきます。	今後は全職員が研修に参加できるようにしていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	プライバシー・尊厳の観点から事業所での行事としては行っておりませんが、園と併用して利用して下さっている方がほとんどです。	今後保護者様からの要望などあれば検討していきたいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	1	主に児発管が参加させていただいています。	今後も職員に周知していけるようにしていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		送迎時や連絡帳を使って日々の様子をお伝えしています。また必要に応じて児発管がご自宅に電話したり訪問させていただき共通理解させていただきます。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4		ご家庭での困りをお聞きした際や、お子様の様子に変化があった際には保護者様にお子様との関わりについて丁寧に伝えていきます。	ミーティングや職員会議などで再度情報共有してまいります。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時にご説明させていただいています。	ミーティングや職員会議などで再度情報共有してまいります。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		支援計画書を2部用意し、保護者様にご説明し、ご納得して頂いた上でご署名いただいています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		モニタリング以外でも電話やラインを利用して保護者様の悩みや困りをお聞きし必要に応じてご家庭に向き、一緒に問題解決に臨んでいます。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		年に1回保護者会を開催し保護者同士の交流の場を設けています。また行事への参加もさせていただいています。	ミーティングや職員会議などで再度情報共有してまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		契約時にご相談窓口を記載しています。送迎時等で相談申し入れがあった場合はすぐに児発管に報告するよう徹底しています。丁寧に対応できるよう努めさせていただいています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		月に1回つなぐレターを発行させていただき、その月の様子などをお伝えさせていただいています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4		鍵のかかる書庫にて保管させていただいています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		それぞれの伝達ツールを事前にお聞きしているので個々にあったツールで情報をお伝えしていきます。	

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4		年に1回、お子様たちがハンドメイドで作った商品を販売するバザーを行っています。その際地域の方をお呼びして多くの方に事業所の活動と子どもたちの頑張りをお伝えしていきたいと考えています。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		年間計画を作成し、月に1回マニュアルに沿って訓練を行っています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		年間計画を作成し、月に1回マニュアルに沿って訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	2	2	契約の前に必ずご確認させていただいています。	ミーティングや職員会議などで再度情報共有してまいります。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	契約の前に必ずご確認させていただいています。	ミーティングや職員会議などで再度情報共有してまいります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		些細なことでもヒヤリハット報告書を作成し、職員会議で議題にあげ事業所内でも事故につながらないよう話し合っています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		県や市の研修に参加させていただき、事業所内にて復命研修を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		契約時にシートベルトの着用等につきましては同意書をいただいています。しかし、お子様を縛り付けるような身体拘束に関しましては一切行っていません。	
